

危険物取扱者 [乙種・性消(第6類危険物)・正誤(1)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第6類の危険物の多くは腐食性がある。【 】
- (2) 第6類の危険物はいずれも衝撃により爆発的に燃焼する。【 】
- (3) 五フッ化臭素の貯蔵にはガラス容器が適している。【 】
- (4) 第6類の危険物は可燃物、有機物との接触を避ける。【 】
- (5) 過塩素酸は赤褐色で刺激臭のある液体である。【 】
- (6) 過塩素酸は空気中で塩化水素を発生し、褐色に発煙する。【 】
- (7) 過塩素酸は不燃性であるが、加熱すると爆発することがある。【 】
- (8) 過塩素酸は水と接触すると激しく発熱する。【 】
- (9) 過塩素酸の比重は0.8である。【 】
- (10) 過酸化水素の高濃度のものは油状の液体である。【 】
- (11) 過酸化水素はリン酸や尿酸の添加により、分解が抑制される。【 】
- (12) 過酸化水素は容器に密栓して貯蔵する。【 】
- (13) 鉄やアルミニウムは、濃硝酸中では不動態となるため溶けない。【 】
- (14) 発煙硝酸は濃硝酸よりも酸化力が弱い。【 】
- (15) 硝酸は酸化力が強く、銅や銀と反応して水素を発生する。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第6類危険物)・正誤(1)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第6類の危険物の多くは腐食性がある。 【○】
多くは腐食性がある。
- (2) 第6類の危険物はいずれも衝撃により爆発的に燃焼する。 【×】
第6類の危険物是不燃性の液体である。
- (3) 五フッ化臭素の貯蔵にはガラス容器が適している。 【×】
五フッ化臭素はガラスをおかすので不適切。
- (4) 第6類の危険物は可燃物、有機物との接触を避ける。 【○】
第6類の危険物は酸化力が強く、有機物を酸化させる。
- (5) 過塩素酸は赤褐色で刺激臭のある液体である。 【×】
無色で刺激臭のある液体である。
- (6) 過塩素酸は空気中で塩化水素を発生し、褐色に発煙する。 【×】
空気中で塩化水素を発生し、白色に発煙する。
- (7) 過塩素酸は不燃性であるが、加熱すると爆発することがある。 【○】
加熱により爆発することがある。
- (8) 過塩素酸は水と接触すると激しく発熱する。 【○】
水と接触すると激しく発熱する。
- (9) 過塩素酸の比重は0.8である。 【×】
比重は1.8である。
- (10) 過酸化水素の高濃度のものは油状の液体である。 【○】
高濃度のものは油状の液体である。
- (11) 過酸化水素はリン酸や尿酸の添加により、分解が抑制される。 【○】
リン酸や尿酸やアセトアニリドなどが安定剤として添加されている。
- (12) 過酸化水素は容器に密栓して貯蔵する。 【×】
通気のため小穴の開いた栓を用いる。
- (13) 鉄やアルミニウムは、濃硝酸中では不動態となるため溶けない。 【○】
アルミニウム、鉄、ニッケルは不動態となるため溶けない。
- (14) 発煙硝酸は濃硝酸よりも酸化力が弱い。 【×】
発煙硝酸は濃硝酸よりも酸化力が強い。
- (15) 硝酸は酸化力が強く、銅や銀と反応して水素を発生する。 【×】
希硝酸では一酸化窒素、濃硝酸では二酸化窒素が発生する。